

学習の大区分への分類事例

(谷 和明 試訳 2013 年 4 月版)

以下に訳出したのは欧州委員会が 2006 年に提起した『学習活動分類-マニュアル』(EC2006)の付録として掲載されている、学習形態の分類のための事例集である。(同様の内容を反復している事例は省略した)。

制度や概念の異なる国で、統一的な区分をするための実務的マニュアルとして、類似した事例が提示されているが、これを通じて、定型的、不定型的、非定型的の区分の基準がどこに置かれているかが明確になるだろう。

番号	事例説明	分類
1	P(17 歳)は教育カレッジでフランス料理を学習している。3 年間の課程で、教室での理論的授業とそれを補足する実習で構成される。課程への入学には中等教育修了資格が必要であった。毎年試験が課せられ、その結果で次年度も継続学習できる。修了時に発行される修了証明書は NFQ において「フランス料理シェフ」という称号のフランス料理における資格として認定されている。	定型
2	P(30 歳)は大企業でフランス料理を学習している。3 年間の課程で、教室での理論的授業とそれを補足する実習で構成される。課程への入学には中等教育修了資格が必要であった。毎年試験が課せられ、その結果で次年度も継続学習できる。修了時に発行される修了証明書は NFQ において「フランス料理シェフ」という称号のフランス料理における資格として認定されている。	定型
3	P(17 歳)はムーニースという民間宗教団体でフランス料理を学習している。3 年間の課程で、教室での理論的授業とそれを補足する実習で構成される。課程への入学には中等教育修了資格が必要であった。毎年試験が課せられ、その結果で次年度も継続学習できる。修了時に発行される修了証明書は NFQ において「フランス料理シェフ」という称号のフランス料理における資格として認定されている。	定型
4	P は教育カレッジでフランス料理を学習している。この課程は 3 年間で、教室での理論的授業とそれを補足する実習で構成される。課程への入学には中等教育修了資格が必要とされる。毎年試験が課せられ、その結果で次年度も継続学習できる。修了時に発行される修了証明書は労働市場で通用するが <u>NFQ 認定ではない</u> 。	不定型
5	P は大きな企業でフランス料理を学習している。この課程は 3 年間で、教室での理論的授業とそれを補足する実習で構成される。課程への入学に	不定型

	は中等教育修了資格が必要とされる。毎年試験が課せられ、その結果で次年度も継続学習できる。この課程の修了資格は <u>NFQ 認定ではない</u> 。	
6	P は民間団体の組織した週末ワークショップでフランス料理を学習している。このワークショップは教室での理論教授と補足的な実習が行われる。ワークショップの受講登録は誰でもできる。ワークショップ終了後、主催企業はワークショップの <u>受講・修了を認める証明書</u> を発行する	不定型
7	P は大企業の組織した週末ワークショップでフランス料理を学習している。このワークショップは教室での理論教授と補足的な実習が行われる。ワークショップの受講登録は誰でもできる。ワークショップ終了後、主催団体は <u>NFQ 認定ワークショップの受講・修了を認める証明書</u> を発行する。	定型
8	P は友人グループとフランス料理を学習している。グループの一人は「フランス料理シェフ」資格所持者であり、その立場から理論的、実践的内容の指導をしてくれる。講習会は毎週 1 回で 2 か月間継続する。各人は書籍やビデオ教材などを購入し、講習会終了後も学習を深める。	非定型
9	P は友人グループとフランス料理を学習している。グループ名は「フランス料理協会」で、修了証明も発行している。グループの一人は「フランス料理シェフ」資格所持者であり、その立場から理論的、実践的内容の指導をしてくれる。講習会は毎週 1 回で 2 か月間継続する。各人は書籍やビデオ教材などを購入し、講習会終了後も学習を深める。	非定型
10	P は友人グループとフランス料理を学習している。グループ名は「フランス料理協会」で、修了証明も発行している。グループの一人は「フランス料理シェフ」資格所持者であり、その立場から理論的、実践的内容の指導をしてくれる。講習会は毎週 1 回で 2 か月間継続する。各人は書籍やビデオ教材などを購入し、講習会終了後も学習を深める。2 か月の講習後、参加者は <u>NFQ 認定資格のための試験</u> を受験する。	非定型
11	P (ISCDE2-中卒資格) は銀行の従業員であるが、陶器づくりの能力を向上させようと決心した。選択したのは「青年と文化的訓練」という文化団体が実施する 1 年間の夜間講座で、週 2 回、2 時間受講して実習を通じて創造性を発展させるものだ。修了時には特別な展覧会に出品できるが、公的な資格は得られない。	不定型
12	P (ISCDE3-高卒資格) は銀行の従業員であるが、陶器づくりの能力を向上させようと決心した。選択したのは「青年と文化的訓練」という文化団体が実施する 1 年間の夜間講座で、週 2 回、2 時間受講して実習を通じて創造性を発展させるものだ。修了時には <u>ISCDE2 レベルの資格</u> が与えられ、陶器職人になる。	定型
13	P (ISCDE3-高卒資格) は銀行の従業員であるが、陶器づくりの能力を向上	定型

	させようと決心した。選択したのは「青年と文化的訓練」という文化団体が実施する1年間の夜間講座で、週2回、2時間受講して実習を通じて創造性を発展させるものだ。修了時にはISCDE2レベルの資格が与えられるが、転職はしない。	
14	P (ISCDE3-高卒資格) は銀行の従業員であるが、陶器づくりの能力を向上させようと決心した。選択したのは「青年と文化的訓練」という文化団体が実施する1年間の夜間講座で、週2回、2時間受講して実習を通じて創造性を発展させるものだ。修了時にはISCDE4レベルの資格が与えられる。	定型
15		
	15~20 略	
21	P はスキーの素人であるが、「ペンギンのようにスキーを」社所属の公認指導員から有料レッスンを受ける。修了時には認定基礎スキー資格 (NFQ ではない) を得る。	不定型
22	P はスキーの素人であるが、「ペンギンのようにスキーを」社所属の公認指導員から有料レッスンを受ける。修了時には何の資格証明も出ない。	不定型
23	P はスキーの素人であるが、個人営業で所得申告している指導員から有料レッスンを受ける。修了時には何の資格証明も出ない。	不定型
24	P はスキーの素人であるが、個人営業の指導員から有料レッスンを受ける。この指導員は所得を隠して申告しない。修了時には何の資格証明も出ない。	不定型
25	P はスキーの素人であるが、知人から無料のレッスンを受ける。修了後は認定基礎スキー資格 (NFQ ではない) の試験を受ける。	非定型
26	P はスキーの素人であるが、お金を払ってスキーを習う。教える人は登録指導員ではないが、指導員の資格を有している	不定型
27	P はスキーの素人であるが、お金を払ってスキーを習う。教える人は登録指導員ではないが、熟達したスキーヤーである。	不定型
28	P はスキーの素人であるが、独力でスキーを学んでいる。修了後は認定基礎スキー資格 (NFQ ではない) の試験を受ける。	非定型
54	P は歴史博物館をガイドなしで見学する。	非学習
57	P は子供に爬虫類について教えるために動物園を見学している。彼は園で配布された教材を利用している。	非学習教育)
59	P は週末に娯楽のために動物園に行く。	非学習
60	P はサッカー大会に出場・競技する。	非学習
63	P はゴルフに上達するために指導員とゴルフをしている。	非学習
65	P はイスラム教徒で、モスクに通っている。	非学習

66	Pはキリスト教徒で、モスクを見学している。	非学習
68	Pは瞑想を実践している。	非学習
76	Pは出版業者で、居住都市で開催されている「今年度国際書籍展」に出かける。	非学習